

第76号

平成3年4月20日 発行

発行
東成瀬村議会
編集
議会広報編集委員会
印刷
(株)増田印刷所

議会だより

〒019-08 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1 ☎0182 (47) 2332



実りの秋に想いをかけて.....

春 ス タ ー ト !

本号の内容

- 三月定例会の内容 2～3頁
- 村長の施政方針 3頁
- 一般質問 4～5頁
- 委員会レポート 5頁
- 平成二年度一般会計予算審議の焦点 6～7頁
- 陳情・意見書・こちら傍聴席 8頁

25億1千5百万円を可決

3月定例会

平成三年三月定例村議会は、三月八日から十四日までの日程で開かれました。この中では、議会委員会条例の全面改正案をはじめ、平成三年度当初予算、企画室を新設するための課室設



置条例改正案、補正予算などのほか、村の新総合発展計画案を含む、二十五議案が提出され、いずれも原案どおり決定しました。

こんなことが決まりました

助産費、葬祭費、育児手当を増額

東成瀬村国民健康保険条例の一部を改正する条例
 ・これまで十三万円だった助産費を二十万円に改正しました。
 ・これまで三万円だった葬祭費を五万円に改正しました。
 ・出生した日から六ヶ月間支給される育児手当金が、一ヶ月五百円から千円に改正しました。
 ※この改正された条例は平成三年四月一日から施行されており

須川湖キャンプ場の使用料改正

・須川湖キャンプ場のテントやキャンプセット使用料などを次のように決定しました。

須川湖キャンプ場			
貸し出し用テント (一昼一夜について)	5人用	500円	
	10人用	1,000円	
貸し出し用 キャンプセット (一昼一夜について)	2人用	500円	
	4人用	1,000円	
ボート (30分まで)	一艇	500円	30分を超えたときは、30分毎に500円を追加する
施設管理費	大人	200円	1人につき
	小人	100円	*(中学生以下)
大柳沼自然公園			
貸し出し用テント (一昼一夜について)	5人用	500円	
	6人用	600円	
	14人用	1,400円	
総合案内施設 休憩室	大人	400円	1人当たり
	小人	200円	*(中学生以下)
ボート (30分まで)	一艇	500円	30分を超えたときは、30分毎に500円を追加する

提出案件

三月定例会

三月定例会に提出された案件は、次のとおりです。

○条例改正

国民健康保険条例・自然公園設置条例・職員定数条例・職員の勤務時間に関する条例・課室設置条例・一般職の職員の給与に関する条例

○新設条例

地域福祉基金条例・議会委員会条例(全面改正)

○補正予算及び平成三年度当初予算

一般会計・国保事業・国保施設・簡易水道・老人保健・老人福祉施設・十文字学生寮(当初予算だけ)

○人事案件

助役の選任

○その他

併用林道解除・東成瀬村新総合発展計画の決定・議会会議規則の全面改正



平成3年度 一般会計予算

新しい村づくりに

企画室を新設

課室設置条例の一部を改正する条例

・ますます複雑多岐になってゆく行政施策のなかで、いろいろな開発事業等に対処するため「企画室」を新設して、総合的に諸事業の企画立案をしていこうとするものです。

新総合発展計画を決定

・村の将来の方向づけをする新総合発展計画を決めました。この計画は十年間の目標からなる「基本構想」と五ヶ年間の目標からなる「基本計画」そして

職員定数、勤務時間の改正・併用林道の廃止

◎村長部局の職員定数を五十五人から五十九人に改正
◎職員の勤務時間を週四十六時間から四十四時間に改正

入を図るほか奨学金貸付のための村振興財団への出資及び海外研修派遣を考えております。
◎このような複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

▼平成三年度は、湾岸戦争の終結によって一段落したかに思えながら、新たな局面の展開も予想されるなどと報道されており、これが経済情勢に影響するのではと懸念しているところ。▼一方国内では統一地方選があるほか、国会も波乱含みの情勢にあるとも言われております。▼そうした中で平成三年度の重点施策を申し述べてみたいと

柳沢へスキー場開設

村長の施政方針（要旨）

ります。

▼産業振興面では、草地開発整備や和牛増頭対策、農村基盤総合整備や森林総合整備などがあり、さらに農業指導センターの強化充実を図ってゆきたい。

▼人づくり対策として、教育施設整備や小学校へのパソコン導入

て、機器の購入及び来年度着工を予定している診療所建設用地の購入を計画したところ。▼また、今後増大する高齢化福祉対策としては、デイサービスやショートステイの充実強化、並びに在宅福祉対策の基本計画の策定に取り組むこととしてお

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

ります。
◎このように複雑多岐にわたる行政施策に対応するため、役場機構に企画室を新設すること、職員四名を増員することをお願いしたい。

議会常任委員会を 二委員会に改正

今回の村議会議員選挙から、議員定数が十四人となるためにこれまで三つあった常任委員会を二つに改正するものです。

総務教育民生常任委員会 七人
産業建設常任委員会 七人

解説 地域福祉 基金とは

三月定例会で、「地域福祉基金設置条例」が制定されました。この基金とは、どんなものか要旨を紹介します。

この基金は、人口の高齢化が急速に進む中で、自治体においても積極的な財政支援をするようにと設けられた制度です。

この基金は、地方交付税法の改正により、平成三年度の交付税の中へ予算措置されてくるもので、この基金をそのまま積み立てて、その運用益を高齢者のための保健福祉の推進に活用しようとするものです。

一般質問

三月定例会における一般質問は、本会議二日目の三月九日に行われ、二人の議員が村政を質問しました。質問の要旨とそれに対する答弁の要旨を紹介します。

受益者負担は 村長—公共事業には求めない



後藤 作 議員

質問 村長は、先般の雄平二郡村サミットの席で、柳沢草地は八億円以上をかけて造成したが、受益者負担は一銭もかけていない、と言っている。草地は公共施設ではないのか。草地造成時に受益者負担徴収の考えがあったのか。

基金をもとに 減税すべきだ

答 収が想定されるのか。村長 草地は公共施設なので、最初から負担金を徴収する考えはなかった。百二十四戸の畜産農家から草地造成の負担金を徴収したら村の畜産は大変なことになる。かつては、養蚕事業、現在では滝ノ沢部落の基盤整備にかかわる受益者負担などを見ているが、容易でないということが頭にしみ込んでいます。受益者負担とは、例えば水路改修などに際して田を営営している方々を受益者としている。

質問 医療費について、県ではここ数年、かつてのような医療費の急増は考えられないという認識を持っている。村の医療費も最近下がってきている。国保の基金が五千万円以上もあるのだから、目に見える形で減税すべきだ。同時に繰越金が予想される場合は、賦課前に予算計上するべきでないか。

また国保は相互扶助制度だから応分の負担はやむを得ないと考えて持っているが、法律の目的は社会保障と国民保健向上に寄与することであって相互扶助ではない。県でも、一面的な強調は誤解を招くと言っている。相互扶助論そのものの認識を改めるべきだ。

村長 基金くずしや繰越金については、予算計上している。基金がまだ五千万円以上あると言われるが、このことは考えの違ひもあると思う。

安全性の高い 道路対策は

あまり安くすると国からの調整交付金が減額となるので、がんばるということではない。相互扶助という宣伝は改めろと言われるが、私は事実を言っている。イキイキ家族、国保Q&Aという冊子を各家庭に配ったが苦情として聞いていない。

質問 スパイクタイヤが四月一日から指定地域での使用が禁止となり、製造販売も禁止となる。村の発展計画では、安全性の高い



改良は進んでいるが……

い道路の整備とあるが、村内集落の道路は地形的な事情もあって坂道が多い。村道の改良とか新設などでの安全性の高い道路の整備について基本的な考えを伺いたい。

村長 村内には非常に危険だと思ふところが六ヶ所くらいある。入道に入っていく栗の木坂などは橋の改良などで、安全確保に努めたが今年さらには改良に努めたい。

財政負担も大変であるが、その他の所についても漸次、担当係や地元とも協議して早期に安全性が確保できるよう努力していきたい。

防災への対応策は

村長—主旨に沿うよう検討する



佐藤正次郎 議員

質問 地震災害に対応した防災意識について伺いたい。
東成瀬村を震源地とした地震で多くの被害を出し、災害救助

法の適用を受けたあの地震から二十年を経過した現在、節目、節目の時期には防災訓練の実施また未体験世代に教訓させる必要があると思うが、過去の経験を生かす防災対応のあり方についてどう取り組むか伺いたい。
村長 今後の対応については、必要を関係各機関とも協議して行事等についても主旨に沿うよう検討していきたいので、時間を貸してほしい。



常任委員会 レポート ③

広報編集委員会

先進地研修から

編集委員
後藤 作

昨年十月、村の議会広報編集委員会は、岩手県前沢町の議会広報編集を視察研修する機会を得ました。

議会だよりはいかに多くの人々に読んでもらうかが最大の課題であり、そのためこの議会広報編集委員会でも心を砕いているのが現状です。

「議会広報は、議会と住民とを結びつける媒体としての役割があり、議会活動を理解してもらうことは勿論、住民に考える機会を作り、行政参加の意欲を作り出す使命がある。読者は住民であり、住民は町政施策推進の主役であることを再確認する。このようなことが、社会活性化の一助にもなる。」と言うのが前

沢議会広報編集委員会の編集姿勢のようでした。

繰り返すようですが、そこには民主主義の原点である「住民こそが主人公である」という観点が見えるような気がします。

前沢町の編集方針は三本柱からなっており記事をそれに合わせて編集していくことが編集上のポイントになっていました。

特に、「議会情報の完全公開（一般質問と答弁をはじめ、議事内容ができる限りカットしないで掲載）」という基本方針に基づき編集、このところが最も技術を要するところだそうです。

「まえさわ議会だより」を何号か見せてもらいましたが四年程前からB五版をA四版の紙面に大きくし、合わせて活字も大

きく一回平均十八ページで発行しているとのことでした。

こうした説明を受けて、我が村の議会だよりと比較して見ると前沢町のそれは紙面に適当な空間があり、写真も大きくふんだんに使っていて、紙面全体から受ける感じが柔らかで親しみやすく、読んでみようという気分を誘うものでした。

昨年の五月には、議会だよりがどう読まれているかを中心にアンケート調査を実施するなど積極的な編集活動をしておりました。

前沢町の議員定数は二十二人で毎回の議会に約半数近い議員の一般質問があるということですのでそれを伝える紙面からは、議場の気迫すら感じられました。

前沢町の議会だよりは、事務局職員三人と編集委員（議員）六人のスタッフによって仕上げられており、全国議会広報コンクールでは特選や優秀賞などを受賞しており視察に訪れる町村もかなりのようでした。

我が村の議会だよりも写真や構成などで中央講師から高い評価を得ているところではあります。さらに研修を重ねて読者は住民であることを忘れない議会だよりの発行に務めなければならぬと感じております。



焦点

予

算

審

議

平成三年度、村の事業の裏づけとなる一般会計及び国保など六つの特別会計からなる総額三十四億二千二百万円にのぼる当初予算案が三月定例会で審議され、原案どおり決定しました。本号では、一般会計予算にスポットをあて、審議内容の主なものを紹介します。

歳入関係

問 スキー場施設建設事業が、過疎債に計上されているが、観光開発事業債は適債基準としてスキー場整備事業債という項目で上げた方が採択基準に合う。

問 県民税の徴収委託金の減少要因は何か。

答 平成二年度最終見込み等を勘案して計上している。

問 保育料負担金の上昇率はいくらか。

答 基準単価で、三歳児が六・二％、四歳児以上で五・九％の上昇となっている。

問 固定資産税の課税標準額の上っている要因は何か。

答 評価替えの増分と地籍調査による面積増分及び新築家屋の

増である。

問 法人税の減少要因は何か。

答 平成二年度は著しい減少であったので、平成二年度においては、前年度減少後の実績を見込んでいます。

総務関係

問 企画費にある看板作成助成金の中味は何か。

答 村を縦断する二本の国道沿線には数々の看板が立てられているが、中には腐食している看板もあるので、これらを整理する必要がある。

また、一部撤去も含めて、新規に設置していきたいと考えて

歳出関係

いる。

問 海外研修、国際交流についての基本的な考えを伺いたい。

答 村の多くの若い人たちに、積極的に進んでほしい、そして見聞を広めてほしいと考えている。それに係る経費等についても村として応分の助成をしてやりたい。

民生関係

問 下水道計画調査委託料とはどんな内容か。

答 村内を全域的な視野に立つて検討しようとするもので、この地区にはどの制度を活用して実施したらよいかというような下水道整備に係る全体的構想を作りたい。

問 長寿祝い金の年齢対象区分をふやす予定はないか。

答 八十八歳から百歳までの間が十二年では長すぎるという話は聞いている。

検討してみたいので時間を貸してほしい。

問 精神薄弱児施設と更生施設との違いは。

答 精神薄弱児施設とは、子どもを対象にした施設で、近くではやまばと学園がある。

また、更生施設とは十八歳以上の人たちを対象とした施設で、近くには、皆瀬更生園がある。

問 村では、全村合同結婚式、あるいは結婚式を行う考えはないか。

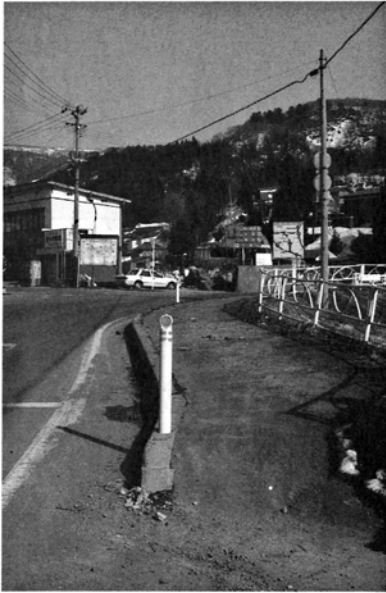
答 このことについては、各家庭で家族のみなどで祝ってやるのが一番良いと考えている。しかし、全村的に希望が多いのであれば善処していきたい。

問 在宅老人日常生活援護事業補助金とはどういうものか。

答 高齢者世帯の雪おろしなどに活用する。

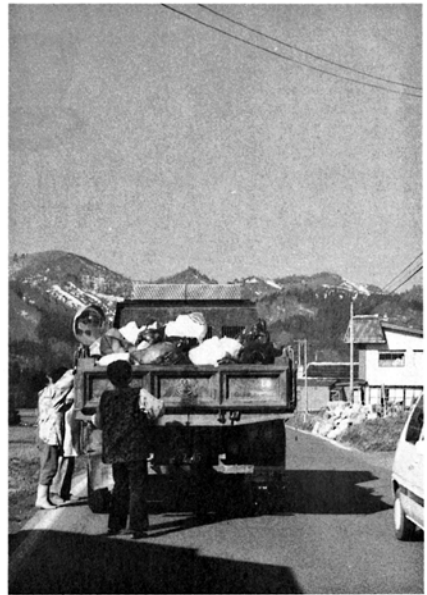
問 デイサービス事業委託料の内容を伺いたい。

答 一日平均十人として、二百四十日、延べ二千四百人の利用を見込んで計算している。この経費は国庫が五十％、県費が二





十五%、村が二十二%、残りが利用者負担ということになる。
問 生ゴミ収集の方法改善を考えているか。
答 衛生協力員や、部落長さん方の協力によって集積場所を確保してまとめ収集することを検討している他、運搬車への助手の乗車等による作業員の増員も検討しているところだ。
問 健康づくり推進費の具体的内容は。
答 この事業は五ヶ年計画で実施されているもので、本年が三年目となる。
 一年目は婦人健康診査を実施、二年目は村の食生活の実態や問題点把握のためのアンケート調査を実施している。
 三年目の本年は、婦人の健康診査異状者の家庭への健康指導を実施していきたいと考えている。



問 田子内(第一分団)に配置する消防ポンプ積載車格納庫建設にかかる助成割合は。
答 各地区の消防器具置場建設と同様に、工事費の二分の一の補助ということ考えている。
問 「きのこの森事業」とは何か。
答 この事業は、自然林改良事業という新規の事業で補助率は六十六%だ。
 当時新炭材用に伐採した広葉樹林地に、新しい木が生えて来ているが、このような部分をきのこの取れるような自然林として育成していくというものである。計画としては、村内に二ヶ所程の候補地を考えている。
問 農業指導センター補助金の

産業関係

約三倍増の要因は何か。
答 指導センターに、常勤することは無理としても一名の指導員を配置して、センター機能を強化していきたい。
 また、転作物の品種拡大を図っていきたい。
問 柳沢草地(牧場)の使用開始はいつか。
答 平成三年度が完成年度となるので、この時が使用開始ということになる。
問 小学校児童の給食用机、イス購入はどの程度更新するのか。
答 学校配分はまだだが、予算の範囲内で考える。
問 公共施設等の雪おろしなどでの災害(傷害)に対する補償

教育関係

を考えているか。
答 現在、保険加入などの措置はしていない。
 今後、加入するという方向で検討していきたい。
問 ふる里館の活用について伺いたい。
答 運営委員会とも協議して、他市町村からの借用物件の展示なども含めた特別テーマ展示、あるいは模様替え、または主催事業の開催などで利用者増を図っていきたい。
問 スキー場管理委託料が増額となっているが、この要因は何か。
答 圧雪車格納庫の春・秋の移転作業委託金が含まれている。
問 教育振興費にある特別教材備品とはどんなものか。
答 吹奏楽用楽器、野球・陸上競技用ユニホームの購入などで、これらは一般的な授業では使わない備品ということで分けています。
問 大森山、須川開発構想の第三セクターの中で、参加企業は占める役割は何か。
答 川鉄商事は、新潟県内で当村と同じ方式のスキー場経営をしている実績もあり、そのメリットをいかした先導的な誘客を

観光開発事業関係

期待している。
 ミズノスポーツは、グラウンドスポーツ(テニスなど)面でもかなり大きいシェアを占めていることから、そのメリットを活用してのイベントへの誘客を期待している。
 学習研究社については、宿泊体験学習的分野での誘客などを期待している。
 千代田火災については、全国単位での各企業等へのつながりをもっていることから、保養施設利用といった面での誘客に期待をしている。
問 柳沢に作るポピュラー館は村の施設として利用できるのか。
答 夏冬通して利用でき、センターの役割を果たす施設として考えている。もちろん村の人も利用できる。
問 村が補助事業として作る施設等は、将来第三セクター会社のものになるのか。
答 大森山、須川湖関係全体の開発構想の基本的な考えとして、国県の補助事業、または村の起債事業で整備するものは整備していくが、自治体は比較的経営に対するノウハウに弱いので第三セクターに委託するという方法もある。

みなさんからの

陳情

請願

三月定例会にみなさんから提出された陳情は審議の結果、採択とされました。

▼貸し出し限度額並びに返済期日の改正について
・東成瀬村商工会々長 伊藤誠 也外二名

内容―ご承知のとおり、国内の経済状況の変化によって日本経済等の動向が大きく左右される中、小企業者、特に経営基盤の弱体な零細企業はその影響をまともに受け、生産販売の伸びも鈍化し、これに起因して資金の確保に苦慮している状況にあります。

す。しかし現状から業種(店舗・工場施設・汁器)等により、五百万円の運転(設備)資金では資材の契約金、人件費等にも満たない実状で、ぜひ現状をご理解下さり、限度額の引き上げ、返済期間に関する条例の改正方について特段のご配慮をお願い申し上げます。

又、本制度については、各種金融機関は他の融資制度より優遇し、速決されており、緊急融資制度として活用され、村内企業者より評価も良く、活用度をご理解の上、一層の即決経由下さるようお願い申し上げます。商工会正副会長をもって謹んで陳情

こころの傍聴席

高校生は村の宝



岩井川 源一 備前

仕事柄、高校生と接する機会が多い中で、感じている事を述べたいと思います。
ここ数年來、高校生の喫煙が増加しています。村内でも例外ではありません。それも単に、好奇心から、遊び心からとは受け取り難く、非行意識も感じられないのです。授業料、通学費

等の為、親が汗水流して働き、生活費を切り詰め、その費用に当てている現状をわからないはずがありません。だとすれば、高校生である事の自覚はもちろん、考え方の何かが失われているのではないだろうか。将来、若者達に期待する事は大です。村の宝なのです。そうした意味からも今、皆で考えなければならぬ時機に来ているのではないのだろうか。
もちろん、高校生の全部ではありません。しかし、一部の人のみでなく、そこまで来ているのが現実なのだから……。

自治功労表彰

高橋東美副議長
後藤作 議員

両氏が受賞

平成三年二月六日、全国町村議員会館で開催された全国町村議長会第四十二回定期総会の席上で、高橋東美副議長と後藤作議員の両氏が地方自治に貢献した功績が認められ、全国町村議会議長会表彰の自治功労表彰を受けました。



申し上げます。

記

貸し出し限度額

現行五百万円を七百万円に

貸し出し期間

現行五年を七年に

改正する陳情

編集室



▼豪雪対策本部の設置を見るに至った成瀬路にも、春は駆け足でやって来た。

▼入学、就職、転入転出、そして農家では播種期というこの時期、それぞれが良いスタートであってほしいと願う。

▼湾岸戦争が終結しホッとしているが、それにしてはも爪跡があまりに大きい。戦争は、人命を奪うだけでなく国土や地球環境の破壊にまで及び、特にこの戦争では、原油の流出や油井への放火など、目にあまる行為があり地球資源の大きな損失となった。

一日も早い保全と平和が望まれる。
▼村議選が迫って来た。
地方自治を進展させ、住民恒久の福祉向上を図るために勇気と英断が要求される。村民の負託に応えるために各位の新たな決意があつてほしいと念じて、今回のペンを書く。

議会広報編集委員会
委員長 高橋 東美